

目次

～ケアマネジャーのほか、生活相談員、サービス提供責任者、管理者にもおすすめ～



■解説編

Step1 障害福祉サービスと介護保険サービスの関連性

- 1 障害者が介護保険の被保険者となる場合とは？
- (1) 障害福祉サービスを利用していた障害者が65歳になった時
 - (2) 障害福祉サービスを利用していない障害者が65歳になった時
 - (3) 特定疾病のある40歳以上の障害者
 - (4) 被保険者資格等を巡る諸課題と留意点
- 2 介護保険サービスと障害福祉サービス、両方利用する場合は？
- (1) 介護保険優先の原則（ただし、一律に介護保険が優先されるわけではない）とは？
 - (2) 障害福祉制度固有のサービス（障害福祉サービスを利用できる場合）
 - (3) 補装具・日常生活用具（障害）と福祉用具（介護）との関係と介護保険制度との関係
 - (4) 介護保険サービス利用時の自己負担に関する留意点
- 3 ケアマネジャーに求められることは何か？

- (1) 障害福祉サービスを知り、利用者にとって最適なサービスを見極める
 - (2) 利用者の障害に応じたケアプランを立てられるようになる
 - (3) 利用者の家族との関わり ーどこまでケアマネジャーが関わるべき？ー
 - (4) 一人で問題を抱え込まない ー周囲と上手に連携をとるー
- Step2 障害福祉サービスの仕組み
- 1 障害者総合支援法
- (1) 障害者総合支援法の制定と目的
 - (2) 障害福祉サービスの種類
 - (3) 障害福祉サービス利用の流れ（利用方法と手続き）
- 2 障害者総合支援法の対象者
- (1) 障害者総合支援法の対象
 - (2) 身体障害者とは
 - (3) 知的障害者とは
 - (4) 精神障害者とは
 - (5) 難病とは
 - (6) 高次脳機能障害とは
 - (7) 発達障害者とは
- 3 就労支援に関する社会資源
- (1) 障害者雇用促進法の概要
 - (2) 職業リハビリテーションの専門機関

Step3 日本の障害者支援制度の全体像を知ろう

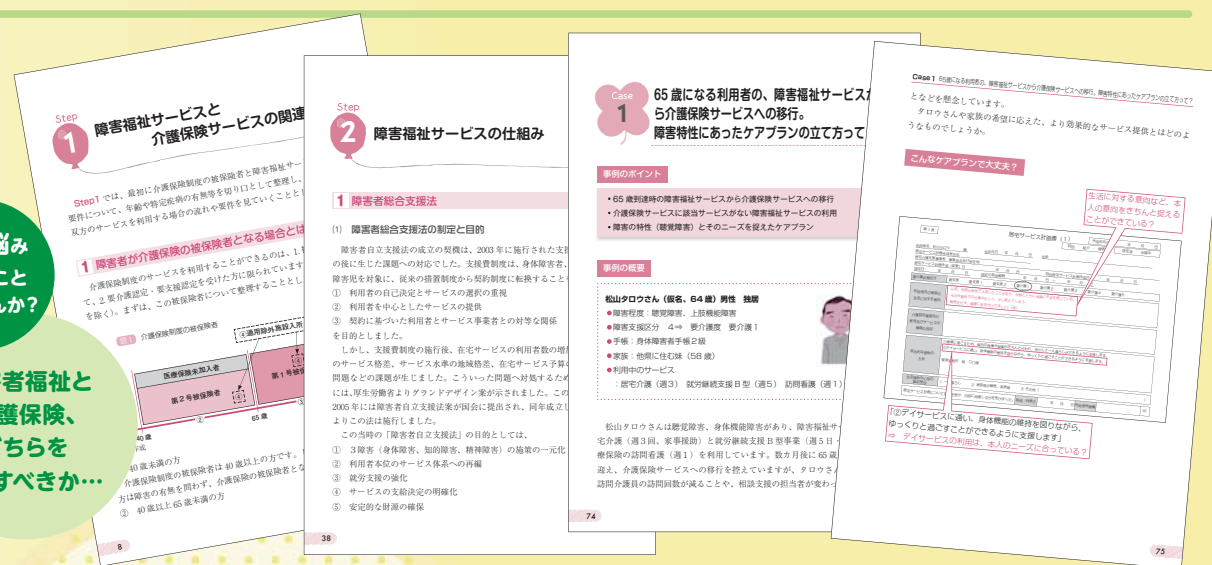
- 1 障害福祉を支える基本理念
- (1) サービス利用者中心とは
 - (2) ノーマライゼーションとインクルージョン
 - (3) リハビリテーション
 - (4) 自立とエンパワーメント
- 2 日本の障害者支援制度のこれまで
- (1) 国際障害者年（1981年）までのあゆみ
 - (2) 国際障害者年（1981年）から社会福祉基礎構造改革までのあゆみ
 - (3) 社会福祉基礎構造改革から障害者総合支援法へのあゆみ
 - (4) 障害者総合支援法施行後の変更事項

■ケーススタディ編

- Case1 65歳になる利用者の、障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行。障害特性にあったケアプランの立て方って？
- Case2 認知症状のある利用者に、精神障害が疑われる家族がいたら？
- Case3 介護保険サービスの利用者が、新たに障害認定を受けたら？

こんな悩み抱いたことはありませんか？

障害者福祉と介護保険、どちらを利用すべきか…



■解説編

Step1 社会保障制度と高齢者の生活保護

- 1 社会保障制度の役割と生活保護制度
- (1) 社会保障制度の果たす役割
 - (2) 社会保障の役割と特徴
 - (3) 「公的扶助」としての生活保護制度
- 2 生活保護受給者の増加と高齢者支援
- (1) 現代社会における高齢者の現状
 - (2) 生活保護の動向と高齢者世帯の推移
 - (3) 生活保護における支援者としての「ケースワーカー」と「ケアマネジャー」の関係
- 3 生活保護高齢者への支援者としてのケアマネジャー
- (1) 地域包括ケアシステムと高齢者支援
 - (2) 連携を重視したケアマネジャーの役割
- Step2 生活保護制度とは
- 1 生活保護制度の歴史
- 2 生活保護制度の目的と仕組み
- (1) 生活保護の基本原則
 - (2) 生活保護の基本原則
- コラム 生活保護の用語の定義
- 3 生活保護の種類と内容
- (1) 生活保護における扶助の種類と方法
 - (2) 生活保護の決定過程と保護の実施

- (1) 保護の決定過程
 - (2) 被保護者の権利と義務
 - (3) 保護の運営実施と財政
 - (4) 生活保護についての相談機関と連携のポイント
- 5 生活保護に関する相談機関と連携のポイント
- (1) 福祉事務所
 - (2) 生活保護ケースワーカー
 - (3) 社会福祉協議会
 - (4) 民生委員
 - (5) 利用者家族との関わり
 - (6) コラム 医療扶助の実施と指定医療機関
 - (7) コラム 介護扶助の仕組み
- Step3 生活保護以外の制度の活用
- 1 障害福祉・医療に関する制度
- (1) 障害者総合支援法による障害福祉サービス・自立支援医療
 - (2) 医療保険による高額介護合算療養費
- 2 生活困窮者自立支援制度
- (1) 生活困窮者自立支援制度とは
 - (2) 事業の内容
- 3 生活福祉資金貸付制度
- (1) 生活福祉資金貸付制度とは
 - (2) 貸付の内容
 - (3) その他の制度

■ケーススタディ編

- Case1 生活保護受給者が介護保険サービスを利用する場合の連携と手続きは？
- Case2 生活保護受給者の暫定ケアプランはどうするの？
- Case3 持ち家があっても生活保護を受給できる？
- Case4 障害福祉サービスと介護保険サービス、どちらを優先させる？

こんな悩み抱いたことはありませんか？

生活保護受給者のケアプランはどうすればいいのか…



■解説編

Step1 成年後見制度を理解しよう

- 1 どんな時に使える？メリットと制度の理解
- (1) なぜ、成年後見が必要なのでしょう、どんな時に使えるのか、使うメリットは何かをまず考えてみましょう。
 - (2) 実際に、どんな制度なのかを理解してみましょう。
- 2 制度利用の流れ～どうやってつなげばいいの？
- (1) 法定後見制度
 - (2) 任意後見制度
 - (3) ケアマネジャーができること&やるべきこと
 - (4) 利用者や家族への説明時のポイント
- Step2 後見人等の役割と身上監護を理解しよう
- 1 成年後見人等の役割と仕事
- 2 身上監護とは
- 3 後見人等とケアマネジャーとの協働
- Step3 あなたの疑問に答えるQ&A
- Q1. 成年後見制度は、多額の財産・資産を持つ人のための制度なのでしょうか？

- Q2. 成年後見制度は家庭裁判所に申立てをすることから始まるのですか？
- Q3. 成年後見制度には1カ月に報酬費用が2万円～5万円かかるって本当ですか？
- Q4. 法定後見の申立てには10万円かかるって聞いたのですが？
- Q5. 法定後見制度は、認知症の人でなければ使えないのでしょうか？
- Q6. 法定後見は、審判が下るまで1年以上かかるのですか？
- Q7. 成年後見登記制度って何ですか？
- Q8. 成年後見利用支援事業って何ですか？
- Q9. どんな人が後見人に選ばれるのですか？
- Q10. 後見人に任期はあるのですか？
- Q11. この頃よく聞く「市民後見人」とは何ですか？
- Q12. 社会福祉協議会の日常生活自立支援事業と成年後見制度の違いは何ですか？
- Q13. ケアマネジャーが自分の利用者の後見人になることはできるのでしょうか？

■ケーススタディ編

- Case1 独居高齢者の在宅生活を支える～成年後見の利用につなぐまで～
- Case2 独居高齢者の在宅生活を支える～成年後見人等と、どう付き合うの？～
- Case3 高齢夫婦のみの世帯～ケアマネが関わって～
- Case4 認知症に備える～今はまだしっかりしているけれど～
- Case5 こんなはずじゃなかった！～後見人が動いてくれない～

こんな悩み抱いたことはありませんか？

成年後見制度をもっと活用したい…

